



TOP PAGE PRODUCTS 製品解説 全国取扱店 お問い合わせ

ろ過材

■パワーハウス

- ・製品群
- ・特徴
- ・使用方法
 - ・使用水量の目安
 - ・水草/小型コイ/小型カラシン/エビなど
 - ・ディスカス/アロワナ/コリドラス/プレコ/グッピー/プラティーなど
 - ・アフリカンシクリッド/海水魚など
 - ・新しい水槽にパワーハウスを使用するとき（割り水・たね砂の効果）について
 - ・メンテナンス（ろ過剤の洗浄）について

■パワーハウス・ベーシック

- ・製品群/特徴

■パワーハウス・カスタムイン

- ・製品群/特徴

■パワーハウス・モノボール

- ・製品群/特徴

■パワーハウス 金魚・メダカ専用ろ過材

- ・製品群/特徴

フィルター

■スモールフィルター

硝化細菌シリーズ

AIRスカイ

BOTTOM F

ネオミックス

エアチューブ

シリコンボース

高性能ドライバクテリア

■マイクロハウス

硝化細菌

■マイクロライブ

パワーハウスの使い方

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6

魚中心の水槽は期間が長くなるとpH降下を起こしやすく不調になる。こんな時ハードタイプは救世主

ディスカス・アロワナ・コリドラス プレコ・グッピー・プラティーなど



ディスカスやコリドラス、プレコなどは、飼育数・大きさ・給餌量あるいはフンの排泄量などにより、微生物による硝化活動が盛んとなりpHが必要以上に下がることがあります。アロワナなどの大型魚も同様で、一般的に魚中心の水槽ではしばしばpH降下が見られます。

そこで、飼育の初期段階ではパワーハウス・ソフトタイプで水創りし、成長や飼育の匹数・給餌量の増加などに応じて、パワーハウス・ハードタイプの併用をお勧めします。ハードタイプは、主成分であるウォラストナイト（珪酸カルシウム）の働きで、pH降下を抑制するマイルドな性質を持ち、ソフトタイプを主体に、徐々にハードタイプを追加することで、長期にわたり水質を安定させることができます。

●パワーハウス・ソフトタイプ（pH上昇抑制）とハードタイプ（pH降下抑制）を併用して快適な水質を創る上部フィルターの例



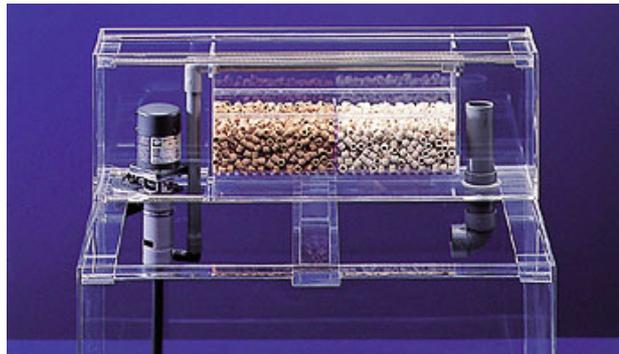
●飼育第1段階

飼育初期の水創りの段階では、パワーハウスソフトタイプのみを用いてpHの上昇を抑え、中性前後の水を創ります。写真は、パワーハウスソフトタイプのみを使用した上部フィルターの例。



●飼育第2段階

魚中心の水槽では、給餌量やフンの排泄量、その他諸々の理由で、3~6ヶ月もすると必要以上にpHの降下が見られることがあります。この場合、パワーハウス・ハードタイプをソフトタイプの半分程度の割合で入れます。写真はソフト：ハード=1.0：0.5とした例。



●飼育第3段階

左の2段階を経てそれでもpH降下が進む場合には、さらにパワーハウス・ハードタイプを増量し、ソフトタイプとハードタイプを同量程度にしてみてください。写真はソフト：ハード=1.0：1.0とした例。

●パワーハウス・ソフトタイプ (pH上昇抑制) とハードタイプ (pH降下抑制) を併用して快適な水質を創る外部フィルターの例



●ソフトタイプ単独使用

飼育初期の水創りの段階では、パワーハウスソフトタイプのみを用いてpHの上昇を抑え、中性前後の水を創ります。写真は、パワーハウスソフトタイプのみを使用した上部フィルターの例。

●ソフト・ハード併用使用

pH降下が見られたらハードタイプを併用します。それでもpH降下が進む場合には、順次ハードタイプの量を増やします。

